

研究通信

版49

1964.8刊
村落社会研究会
事務局
東京都港区芝三田
272
慶應義塾大学
第三研究室

◎第十二回大会について

既報の通り来る九月二十三日、二十四日の両日箱根町強羅静雲荘（文部省共済組合宿舎）において第十二回村落社会研究会大会を開くことになりました。

大会プログラム及び発表される研究のレジュメは本研究通信に同封して送附いたしました。

参加に関する諸費用をお知らせいたします。

1. 大会参加費 二〇〇円
2. 懇親会費 三〇〇円

3. 宿泊料（一日分）

| | |
|-----|------|
| 部屋代 | 二三〇円 |
| 食事代 | 二六〇円 |
| 朝食代 | 一一〇円 |
| 昼食代 | 一三〇円 |
| 入湯代 | 二〇円 |
| 計 | 七五〇円 |

これに対する課税（一割）

| | |
|-----|------|
| 合計 | 八二五円 |
| 七五円 | |

4. 本年度会費

五〇〇円

なお、研究発表者の持時間は自由課題は一人につき四〇分、質疑応答一〇分、共同課題は一人につき一時間二〇分、質疑応答二〇分といったが、右は研究御発表の優劣によるものではなく、プログラム編成の都合によつてそうなつたのであること

を御了承頂きましたと存じます。

◎ 本年度会費納入について

大会に御参加なさらない方々は会費五百円を御送り下さいますよう御願い致します。

送り先

(A) 東京（国鉄）—小田原（箱根登山鉄道）
—強羅

(B) 新宿（小田急）—湯本（箱根登山鉄道）
—強羅

料金 (A) 三百二十円 (B) 五百十五円

時間 (A) 二時間三十分

(B) 一時間五十分

(B) の時間及び料金はロマンスカー
使用の場合であり、予約制。

強羅駅より会場までの略図はレシュメ裏表
紙にあります。

東京都港区芝三丁目ノ二

慶應義塾大学第三研究室

村落社会研究会事務局

振替 東京 8 0 2 2 7

村落社会研究会